

新潟大学若手教員スイングバイ・プログラム

(若手教員一括採用育成制度)

新潟大学自然科学系 助教の公募

新潟大学では、国内外の多様な分野で活躍する優秀な若手研究者が、本学において更に飛躍できるよう、手厚い支援を用意した「新潟大学若手教員スイングバイ・プログラム」制度を設置しました。

この若手教員スイングバイ・プログラムでは、分野を超えて一括公募採用を行い、採用後はそれぞれの専門分野の研究はもとより、分野を超えた融合研究へと展開していくための環境整備や、確実な研究資金獲得のための支援等を行います。

本年度は、以下の研究領域において15名程度の若手研究者の採用・育成をおこないます。採用においては、各分野での専門性を中心とした一次選考、役員による総合的な観点での二次選考を行い、採用者を決定します。採用後は、専門分野に応じた学系等に所属するとともに、若手研究者等の育成・支援を担う研究推進機構に兼務していただき、皆さんの新たな挑戦をサポートします。

本学では、ダイバーシティ&インクルージョンを推進しており、女性研究者や外国人研究者の活躍推進を行っています。積極的な応募を歓迎します。

公募分野

「神経・生理心理学または司法・犯罪心理学」、「防災、評価等を含む先端的行政技術に関する研究(行政学ないし行政法)」、「情報学基礎」、「経営学(組織行動論)」、「森林保護学」、「カーボンニュートラル技術関連(太陽光発電, 太陽電池, 人工光合成, 水分解, 光触媒, 太陽熱利用)」、「無機・分析化学分野およびその関連分野」、「代数・幾何学(代数幾何, 数論, 微分幾何, 位相幾何とその関連分野)」、「ビッグデータ／情報・AI 関連(データサイエンス, 情報通信, 人間医工学, 人間情報学, バイオメカニクス, 計測工学)」、「植物遺伝育種学」、「エコロジ一歯学」、「感染症学, 細菌学, データサイエンス分子生物学分野」、「解剖学分野」、「放射線技術科学分野(実践臨床画像技術学)」、「サイエンスコミュニケーション分野」、「口腔機能再生医科学」、「先端的な脳病態解析に関する研究」

募集人数

15名程度を予定

本公募はその一環として森林保護学分野担当教員を公募するものです。

1. 募集職種

助教1名(任期の定めなし)

2. 採用予定日

令和5年4月1日以降のできるだけ早い時期

3. 所属

自然科学系農学系列

ただし、担当する自然科学系農学系列で教育及び研究を行うことを基本としますが、特に研究活動面に関するサポートを受けるため、採用時から3～5年間は研究推進機構に兼務し、本学の若手教員育成プログラムに参加していただきます。

4. 職務内容

[担当学部・研究科] 農学部・大学院自然科学研究科

[職務内容]

1. 研究： 森林保護学の専門的知見に基づき地域の森林にて顕在化する森林被害（特に鳥獣害）へ対応する研究に取り組んでもらいます。新たな発想，手法によって得られた生態学的データの解析，統計学的モデリングなどにより、農林業ならびに中山間地が抱える地域課題を解決する科学的取り組みを進めていただきます。また、人と自然との共生を目指す佐渡自然共生科学センター（森林領域，里山領域）との連携にも積極的に取り組んでいただきます。

2. 教育： 農学部農学科（流域環境学プログラム）、大学院自然科学研究科環境科学専攻（流域環境学コース）を担当し、森林科学をベースとした教育に他の教員と協力して取り組んでいただきます。持続的な森林管理と生態系の保全を支える人材育成に熱意を持って携わっていただきます。

[専門分野] 森林保護学

[備考] 令和5年度末で定年となる同分野教員の後継として、1年間是一緒に研究活動を行い、2年目以降は単独で研究室活動を行っていただきます。

5. 応募資格

- (1) 原則として、専門分野における博士の学位取得後10年以内の者（着任日までに学位取得見込の者を含む）
- (2) 多様な森林分野研究者と協働して、森林管理に係る社会的課題に積極的に取り組む意欲のある者
- (3) 分野横断・融合的な研究を行うことに意欲のある者
- (4) 採用後、新潟市又はその近郊に居住し、業務遂行が可能な者

6. 雇用条件等

- (1) 勤務地 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地
- (2) 給与 年俸制（国立大学法人新潟大学新年俸制教員給与規程）、その他本学の諸規程による。
- (3) 勤務形態 ・勤務時間：裁量労働制 みなし労働7時間45分
・休日：土・日曜日、祝日、年末年始の休日等
- (4) 社会保険 文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険
- (5) 個人研究室の貸与 有（56m²程度）

7. 若手教員育成支援

採用後には、専門分野を高めると同時に既存分野を超えた新たな展開に挑戦できるように以下のような大学活動の支援を行います。

- ① スタートアップ研究資金（担当する部局での研究費は別途措置）
- ② 全学的な機器共用制度
- ③ 育成プログラム（大学及びURA等による支援）
 - ・ 科研費等の外部資金獲得サポート
 - ・ 定期的な異分野交流会への参加
 - ・ 採用者同期会の運営・参加
 - ・ 大学での教育方法に関する研修等の受講
 - ・ キャリアや専門分野を活かした研究推進に係るセミナー等の講師
 - ・ その他、教育研究活動に必要な研修等の受講 など

8. 応募書類(各1部、A4判、書式任意)

- (1) 履歴書：写真貼付のこと
- (2) 業績リスト（査読のある専門誌論文、国際会議論文、著書、特許、学会賞等の受賞、およびその他に分けてA4判用紙に記載すること）
- (3) 科学研究費補助金等の外部資金の獲得状況（研究代表者・研究分担者の別を明記すること）
- (4) 主要論文(業績)3編以内の別刷あるいはコピー
- (5) これまでの教育研究の概要と本学に採用された場合の教育研究の抱負について、それぞれ1,600字～2,000字程度にまとめたもの
- (6) 教育実績がある場合には、担当したことがある授業科目のリスト（科目名、教育機関名、担当年度）、これまでに指導した学部および大学院の指導学生数（申請者本人が実質的な指導をした場合に限る）
- (7) 応募者について意見を聞くことのできる方2名の氏名・電子メール連絡先

※ 必要に応じて、追加書類の提出をお願いする場合があります。

応募書類を封筒に入れ「スイングバイ・プログラム（森林保護学分野）教員公募 応募書類 在中」と朱書の上、簡易書留または宅配便（受け取り確認ができる方法）にて10.に示す送付先にお送りください。

（注） 応募書類は返却しません。応募に関する秘密は厳守します。また、本公募手続きにより本学が取得した応募者の個人情報とは、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づき適正に管理し、選考以外に使用しません。

9. 選考スケジュール

- (1) 応募締切：令和4年10月7日（金） 17時 必着
 - (2) 第1次選考：令和4年10月上旬～11月上旬 書面審査、面接審査（リモート面接の場合あり）
 - (3) 第1次選考結果通知：令和4年11月上旬
 - (4) 第2次選考：令和4年11月～12月 役員による面接審査（リモート面接の場合あり）
 - (5) 第2次選考結果通知：決定次第、本人宛通知
- ※交通費・滞在費等の選考にかかる費用は、応募者負担とします。

10. 提出書類の送付及び問い合わせ先：問合せは原則として電子メールでお願いします。

- (1) 送付先：新潟大学自然科学系総務課学系庶務係
〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地

TEL 025-262-6823
FAX 025-262-7940
E-mail skei-shomu@adm.niigata-u.ac.jp

(2) 問い合わせ先

新潟大学自然科学系 農学部 教授 長谷川英夫
TEL 025-262-6690
FAX 025-262-6854
E-mail hsgw@agr.niigata-u.ac.jp

11. 業務内容に関する問い合わせ先：問合せは原則として電子メールでお願いします。

(1) 問い合わせ先

新潟大学自然科学系 農学部 教授 箕口秀夫
TEL 025-262-6698
FAX 025-262-6854
E-mail mig-chi@agr.niigata-u.ac.jp

12. その他

※新潟大学では、ダイバーシティ推進室（<http://www.niigata-u.ac.jp/geo/>）を設置し、女性研究者支援を推進しています。

※新潟大学では、キャンパス・グローバル化の実現に向けて、グローバル対応力の高い教員の採用を推進しており、多様な言語を母語とする学生、研究者との日本語、英語を使ったコミュニケーション能力のある方の応募を歓迎します。